



# 少連協ニュース

発行所 / 足立区少年団体連合協議会

http://www.a-shorenkyo.jp  
〒 120-8510 東京都足立区中央本町 1-17-1 足立区役所  
青少年課 青少年事業係 TEL 03-3880-5275

発行人 野辺 陽子  
編集 調査広報部  
大林 市川 田中 小野田  
高澤 南部 川下 山岸  
高橋 山川 小林



## 笑顔いっぱいの 子どもたち



言わされてするあいさつには意味がない。  
自分から自然に出るあいさつこそが大切なのだ。今、多くの P  
TA や、開かれた学校づくり協議会の活動であいさつ運動が繰り  
広げられている。活動の良し悪しはさ  
ておき、あいさつは、決しておしきせ  
であってはならない。心から自然に出  
るあいさつができる大人になるための  
きっかけになってくれればと思う。元  
日の「オメデトウ…」のように。

このコラムも、二十数回になるが、  
今回で最後となる。毎回楽しみにして  
くださっていた方々、そして紙面をさ  
いてくださった広報の方々に心からあ  
りがとうと申し上げたい。



あいさつは  
きつかけと勇気

足立区少年団体連合協議会  
会長 野辺 陽子

私がまだ小さかったころの元日の朝のこと。真新しい服を着て、  
家族全員が食卓に着き、新年のあいさつをしてからおせちをいた  
だく決まりがあった。どうしても私は「おめでとうございます」  
が言えずにもじもじしていた。兄達に気付かれ、せかされたが、  
なかなか言えないでいた。すぐ上の兄に「思いきって言っちゃ  
うんだよ」とささやかれ、勇気をふりしほって「オメデトウゴザ  
イマス…」と消え入りそうな声で言うことができた。私にとっては、  
どうしても言わされた感の残るニガニガしいものであった。あの  
時ほどあいさつがイヤなものだと思ったことはなかった。そんな  
私がある時、なぜか近所のおばさんに「おはようございます」と言  
うことができた。「おはよう。えらいわねえ」と言われ、妙にう  
れしくなり、ちよっぴり微笑んだ自分がいた。なんだ、あいさつ  
って気持ちのいいものなんだと子どもながらに思ったことを覚え  
ている。



# 継続から未来へ向けて

創立50周年記念事業実行委員会



高島 直樹  
都議会議員



齋藤 武  
東京都子ども会連合会理事長



鴨下一郎  
衆議院議員



高山のぶゆき  
足立区議会議員



近藤やよい足立区長

### ▲ご来賓のごあいさつ

#### ■感謝

「ありがとうございました」

去る、平成28年2月13日(土)

日暮里「ホテルラングウッド」において、足立区少年団体連合協議会創立50周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。これには足立区長近藤やよい様、足立区議会議長高山のぶゆき様、衆議院議員鴨下一郎様、東京都子ども会連合会理事長齋藤武様はじめ多数のご来賓をお迎えして、合わせて二百二十七名のご参加のもと、賑々しく開催できましたことを衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、少連協が誕生したのは、日本の総人口が一億人を突破した時期で、草創期にご尽力された初代会長野口松五郎様、副会長関谷正春様、井上市三郎様、工藤兼嗣様はじめ当時の役員の皆様は、獅子奮迅の活動と凄まじいエネルギーを発揮したことと思います。脈々と受け継がれた「少連協の高い志と誇り」を胸にその後の会長、副会長、役員、常任理事の方々の貢献は図り知ることができません。

#### ■経過

一つの道筋が4年間の積み上げで成果が見えてきます。

平成24年度事業方針に時代のニーズに見合った子ども会活動方式や、組織のあり方について研修会等を実施し、広く啓発活動を行いました。

平成25年度事業方針には、東日本大震災に学び、異年齢集団活動の重要性と危機対応能力を高め、生きる力を育成することになりました。

平成26年度事業方針では、「優しく、たくましい、元気な子！」を提唱し、子ども達の明るく健や



▲少連協の文字の入った酒樽の鏡割り





▲主催者



▲ご来賓の皆様



▲乾杯  
佐々木一彦元教育長



▲ごあいさつ  
定野司教育長



▲乾杯と同時に歌が入りました

かな成長を願い、活動方針に掲げた「50周年記念事業二〇一五プロジェクト」を平成26年総会で承認を得ました。少連協の歴史・未来・総括・使命・ジュニアリーダーの把握と「成果と課題」を掘り下げ、50周年事業のプロモーションを確実なものとなりました。

さらに、平成27年度事業方針では創立50周年記念事業の取り組みを九項目に分類し、総会で承認を得ました。少連協創立50周年に当たり、先人と関係諸団体の功績に感謝し、新たな少連協の課題に取り組み、中期計画を策定することにしました。なお、50年の将来を見据える好機と捉え、様々な事業

「指導者クラブとジュニアリーダークラブの発足は少連協の新たな

■課題と成果

「少連協50周年記念事業」の冠を配し、50年の歩みを検証しました。それにより、足立区の子ども達が「豊かで、優しく、輝く、元気な子！」に成長することを強く願い、事業展開ができました。

特に、50周年事業に向け4年間をかけ、少連協の循環型異年齢集団活動の推進が計画通りに遂行できたことは、野辺陽子会長のリーダーシップと役員、常任理事、関係諸団体のご理解があればこそと改めて「チーム少連協と足立区教育委員会」の連携が結実したものと捉えられることができました。



▲山本輝夫副会長



▲野辺陽子会長  
あいさつ



▲定野教育長より小宮謙治元役員へ感謝状



▲近藤区長より野辺会長へ感謝状



▲輝くジュニアリーダーたち





▲足立の歌が響きました（足立区少年少女合唱団）

出発

近年、ジュニアリーダーの連続としての継続が途切れ、異年齢の団塊が際立ち、リーダーの継承に支障をきたしています。また、同様に育成者・指導者の確保と指導者の資質向上の機会が薄れ、組織の機動力が低下の傾向にあります。平成26年度から、改善案を具現化し、教育委員会と連携して対策を講じ、指導者クラブ・ジュニアリーダークラブの取り組みが「少連協50周年記念事業二〇一五プロジェクト」に加味されたことは少連協の前進となりました。

成果として3年計画を前倒しし、創立50周年記念事業の「指導者ク



▶会場風景



▲小野田書記（左）と鈴木春男副会長



▲林 俊二書記



▲鈴木健治副会長代行

「少連協の理念は行動と実践」  
 ■未来に向かって  
 「少連協の理念は行動と実践」  
 ラブ」「ジュニアリーダークラブ」の発足を祝賀会の中で皆様に披露できたことは何よりめでたく、喜びに満ちた瞬間でした。野辺会長から少連協のバッジを胸に付けてもらうジュニアリーダーの姿は清々しく、誇らしげでした。これは、新たな少連協のスタートに相応しい光景でもありました。



▲市川広報部長



▲赤間地区対会長



▲四宮育成部長と大林副会長（右）



▲清水事業研修部長



▲元井総務部長







先人が成し遂げた、偉大な事業「少連協」を継承する責務を足立区民として痛切に感じる一年間での式典・祝賀会で、少連協のメッセージが会場一杯に熱く響きわたった時の興奮はいまだに冷めやらぬ思いです。

子どもは地域で育む。子どもは地域のかげがいのない宝です。

子ども達の夢を実現するために、足立区の未来を拓く子ども達のために大人として何ができるか、絶えず心を子ども達に傾けていきたいと思えます。

すべての皆様に感謝を申し上げ、子ども達からもらった、このたびの貴重な体験を大切にしたい、その肝に銘じています。

(実行委員長 山本輝夫記)



▲受付風景



▲ 50周年記念事業実行委員会の面々



# 子どもを輝かせるために

「シンポジウムinあだち」を開催

平成27年9月26日(土) 東京芸術センターにおいて、「シンポジウムinあだち」が開催されました。

当日は、土曜日の夕方にもかかわらず、足立区長近藤やよい様をはじめ多数の聴衆の皆様に参加していただきました。少連協大林英夫副会長の司会でシンポジウムは始まりました。

## 第一部 基調講演

▼演題 少年の日の思い出

▼講師 足立区教育委員会

定野 司教育長

教育長の立場から「今日目指している教育論」に始まり、これまでの行政畑の経験から得た体験を話されました。自分の親を通しての大人、子どもの接し方、そして自分子ども時代の入院生活で得た体験を、持ち前のエネルギーを口調で講演を行ってくださいました。

最後に「足立区の子も達は区民の宝。子どもを育てると私たちも成長できる。私たちのため、子

どもたちにどんな体験をさせてあげられるかということ、常に考えたい」という言葉で結んでくださいました。

## 第二部 パネルディスカッション

▼今、何をなすべきか

「ゆたか」「優しさ」「子どもを輝かせる」という三つのことに対して、討議を行いました。

パネリストは、小学校長先生、

青少年委員、保護者を代表してPTA会長、民生・児童委員、大学生、少連協会長と幅広い立場、年齢層から参加していただきました。年齢層から参加していただきたくさんの意見・体験等が出され、その討議に聴衆は引き込まれました。

最後には「やはり子どものために皆さんの知恵、体験、経験を活かして、足立の子ども達が健全に育ってほしい」との意見でまとめられました。

▼パネリスト紹介

足立区立渕江第一小学校

長 博 校長

足立区青少年委員

川下勝利副会長



足立区立小学校PTA連合会

鈴木 淳 会長

足立区民生・児童委員

高橋 純子 様

足立区少年団体連合協議会

指導者クラブ

上杉 優実 様

足立区少年団体連合協議会

野辺 陽子 会長

コーディネーター

足立区少年団体連合協議会

山本輝夫 副会長



▲壇上のパネラー、コーディネーター



▲近藤区長、高山区議会議長も聴いてくださいました



▲講演する定野教育長



# 節目の年の新年会

平成28年1月8日（金）、区役所14階のレストラン「メヒコ」にて新年会が盛大にそして厳かに開催されました。

節目の年に相応しい野辺会長の力強い50周年に向けてのあいさつで始まり、足立区長代理の教育委員会教育長定野司様をはじめ、たくさんのご来賓の方々に足立の子どもに対するあたたかい言葉と、少連協に対する祝辞をいただきました。次世代の十年の活動に対して責任重大と参加者一同、思いをひとつにしました。

間近に迫った50周年に向けて関係者一同、力をひとつに頑張ろうとする機運で満ち溢れた第一部でした。

第二部の懇親会では、短い時間でしたが、テーブルごとで大いに語り合う声が聞こえ、盛り上がりっていました。

恒例のビンゴゲームでは、ビンゴが出るごとに一喜一憂し、大人になっても、ゲームは楽しいことなのだと感じました。



足立区立中学校PTA連合会・井門明洋会長の中締め、足立区スポーツ推進委員会・羽住敏久会長の万歳三唱へと進みました。

足立の子ども達に対して、今、大人に何ができ、何をしてあげられるのかを今後の課題として、閉会となりました。



▲定野教育長ごあいさつ



▲野辺会長が力強くあいさつ



▲輪になって歌おう…



▲保坂朗様のカンパイ！



▲少連協座談会

## 50年を振り返り 未来を語る

### 50周年座談会

健全育成団体として50年の歩みと歴史を創った先人に感謝しつつ、新たな未来へ、少連協の歩みを具体的に実行に移すことについて、諸先輩から現役までご参集いただき座談会を行いました。

今後の少連協は、時代の変化を許容し、一層の創意を生み出す役割を参加者全員で確認し合いました。





▲座談会出席者

●司会

足立区少年団体連合協議会

野辺陽子会長

●出席者

足立区少年団体連合協議会

河南茂二元副会長

足立区少年団体連合協議会

国井清伸元副会長

足立区少年団体連合協議会

田中敏明元副会長

足立区少年団体連合協議会

蒲原地少協会長

四宮淳司育成部長

足立区少年団体連合協議会指導者  
クラブ・ジュニアリーダー育成部

関根未香会長

足立区少年団体連合協議会

指導者クラブ

小安郁香

# バラエティに 富んだ研修

## ■少連協日帰り研修旅行

本年度は創立50周年記念事業がある忙しい中、11月29日(日)、野辺会長はじめ46名の参加者を得て楽しい一日を過ごしました。

朝から素晴らしい天候に恵まれ西新井をスタート。最初の見学地は山梨県の猿橋です。この橋は、大変珍しい構造で、山口県岩国の錦帯橋と並び奇橋のひとつとして有名です。

西暦六百年頃、百済から来た造園士が難航した中で建設されたとい



▲甲斐の猿橋で記念撮影

標記されていきました。

全員での記念撮影を行い、次の見学地の象牙美術館へ向かいました。大小様々な彫刻品が展示されていて、中でも2メートルを超える作品には大興奮しました。

ワシントン条約により、象牙の輸入が禁止されている現在では、同館のコレクションは世界的にも類のない逸品揃いだそうです。

昼食後、旧大日影トンネルへとバスを進めました。

ここは、明治時代の鉄道遺産に指定され、明治36年に開通して使用されていたそうです。

全長千三百六十メートルのトンネル内を歩き通し、上気した顔で記念写真に納まりました。

次のワイナリーでは、芳醇な香りに浸り、遠く八ヶ岳の峰々を仰ぎ見ながら帰路につき、車中では、恒例のビンゴゲームを楽しみ、西新井までゆっくりした時を過ごしました。

最後に山本副会長より、バラエティに富んだ研修内容と、準備から当日の世話係まで行った総務部に、周年的な言葉がありました。また、周年事業が無事終了できますよう、ご協力のお願も併せての

あいさつがあり、研修旅行の締めとなりました。総務部といたしましても、更に楽しい企画を準備し、皆様のご参加をお待ちしております。

(総務部 鈴木 健治記)

# 活発に打ちとけ あうJL

## ■江東五区ジュニアリーダー合同 研修会

江東五区少年団体連合協議会(当番団体 墨田区)では、平成28年2月28日(日)の午前10時から午後4時まで、江東五区ジュニアリーダー合同研修会を開催しました。開催場所は墨田区役所13階会議室で、江東五区ジュニアリーダー(足立区(9名)、葛飾区(4名)、江東区(4名)、墨田区(10名)、江戸川区(参加者なし)の方々が参加しました。

研修会は、墨少連ジュニアリーダーの司会で開会しました。

墨少連の坂井会長より、正式に江東五区のジュニアリーダー交流会が発足できた喜び、そのための努力の経緯と墨田区教育委員会にお世話になったことなどのお話が





▲足立区の参加者の皆さん



▲開会式



▲意見交換のようす

ありました。

●レクレーション研修

墨田区教育委員会生涯学習青少年担当の須藤主事の講演でしたが、講師もジュニアリーダー育ちで、的確に子ども達の心をつかんでくれるような講習会でした。研修は、レクゲームを通じてジュニアリーダー同士が活発な意見交換ができる関係を作っていくといった内容でした。

●レクレーション交換会

他区のジュニアリーダーが行っているレクゲームを体験することでゲームの幅を広げられると思えました。子ども達がいきいきと得意のレクゲームを発表していました。

●行われたレクゲーム

チェックイン・四つの約束・名札探し・ズームズーム・彫刻鬼探し等14ゲーム

●意見交換会

お茶を飲みながら、軽い気持ちで意見を出し、メモに記入したものを黒板に貼って、活発な意見交換ができました。

●感想

足立区からは、ジュニアリーダーの子ども達、少連協指導者クラ



▲熱戦!

熱戦に次ぐ熱戦

■少連協50周年記念

ドッジビー大会

平成28年2月11日(木)総合スポーツセンターで、開催されたドッジビー大会は、野辺陽子会長の

プの関根さん、青少年課久保係長、明石主任主事、少連協野辺会長が参加されました。子ども達は、同じような目的を持っているので、すぐに打ち解け、ゲームに、発表にと頑張っていました。今後は、こういう機会をどんどん増やしてあげたいという思いです。

(副会長 大林 英夫記)



開会式あいさつに続き、近藤やよい足立区長の「スローオフ」の掛け声とともに、高山のぶゆき足立区議会議長のディスクスローイングで始まりました。

第8回を迎えた50周年記念大会は16チームが参加し、小学生の部・小中学生混合の部の二つのブロックにわかれ、熱戦を繰り広げました。

試合結果は、以下の通りです。

▼小学生の部

一位 青井地少協 加平キッズ

二位 舎人地少協 たんぼぼ

三位 東綾瀬地少協 綾瀬キッズ

▼小中学生の部

一位 扇地少協 ピンクパンサー



▲近藤区長のスローオフ



▲たんぼぼ



▲加平キッズ



▲ピンクパンサー



▲綾瀬キッズ



▲カバチA



▲西新井本町二丁目



二位 第五地少協 本町二丁目  
三位 蒲原地少協 カバチA

50周年記念大会の今年は、入賞チームそれぞれの子どもたちに、金メダル・銀メダル・銅メダルが手渡されました。

なお、小学生の部で優勝した加平キッズと小中学生の部で優勝したピンクパンサーは、どちらも初優勝でした。

(調査広報部 田中加代記)

### 感謝し、未来へ 思いをはせる

#### ▼第十四地少協

#### 創立50周年記念式典・祝賀会

平成27年9月26日(土) 江戸一西新井館において百名以上のお客様をお招きし、第十四地少協の創立50周年記念式典と祝賀会が開催されました。元井一壽会長、山下徐功実行委員長のあいさつの後、感謝状の贈呈がありました。足立区教育委員会子ども家庭部青少年課課長の寺島光大様をはじめ、ご来賓の方々からご祝辞を頂戴しました。

祝賀会も和やかな雰囲気で開催し、会場はOBの皆様方の久しぶ



▲第十四地少協 50周年記念式典・祝賀会

りの再会もあり、同窓会さながらあちこちで思い出話に花が咲きました。十四地少協が50年もの長い間、地域の子どもの健全育成に貢献できましたのも、歴代の役員の皆様はもちろんのこと地少協を支え続けてくださった学校関係者、また、地域の皆様のお力添えのおかげと深く感謝申し上げます。

#### ▼子どもビーチボール大会

前日までの寒さが嘘のように、暖かな小春日和となった11月3日(火)、西伊興小学校、伊興地域学習センターをお借りして、十四地少協では恒例の「子どもビーチボール大会」を開催しました。今年も男女とも8チームずつ、計16人チームの参加がありました。

男子の予選リーグは最初からフルセット続きの白熱した試合になりました。

実力も年々レベルアップし、決勝戦では拾って拾って繋ぐ粘りのプレーをたくさん見ることができました。勝って飛び上がって喜びました。勝つて悔し涙を流すチーム、一生懸命戦ったからこそその感動のシーンが見られました。

大会の開催にあたりましては、スポーツ推進委員、青少年委員、地域特別協力委員の皆様をはじめ、大勢の地域の皆様にご協力いただきました。

#### (第十四地少協

副会長 近藤弥生記)

### 盛り上がった総会

扇地少協

平成28年4月22日(金)、扇地少協(鈴木春男会長)では、扇三丁目アパート自治会集会所において、平成28年度総会を開催しました。

足立区教育委員会より寺島青少年課長様、清水少連協事業研修部長様、持木興本地区対会長様はじ



▲扇地少協 総会のようす

め町会・自治会会長、学校・PTA役員の皆様46名の出席のもと盛大に開かれました。

総会はスムーズに進行し、今年度の事業方針にもとづき、全員一致で取り組んでゆくことを申し合わせました。

総会終了後の懇親会も盛り上がりました。扇地少協では恒例になったビンゴ大会、参加者は景品のお花獲得を競い合いました。

### 編集後記

今回は、少連協50周年記念号として、増ページカラー刷りで、発行しました。50周年記念行事などがあり、時間がかかってしまいました。調査広報部